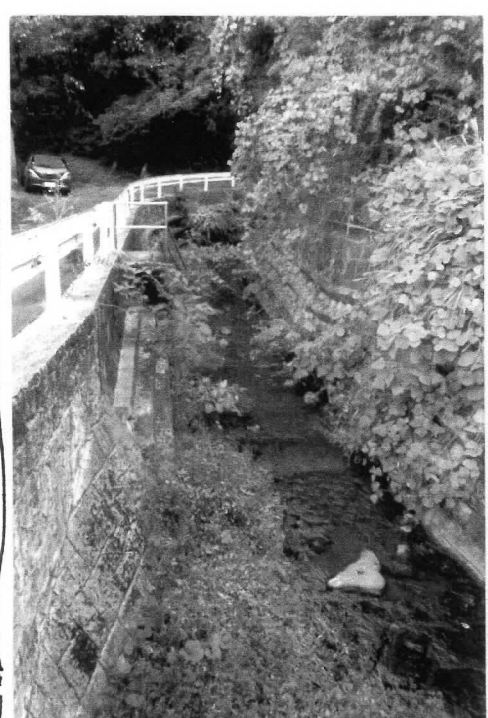


こんにちは 中根さちの ハーフシター



日本共産党 高知県議会 活動報告ニュース 県議会控室 823-9524 高知市丸の内1-2-20 2017.12.3
目 毛 872-9324 高知市福井町1475-0 NO. 541

「竹島川上流をきれいに！」



潮江地域の南を流れる竹島川の上流は、整備はされていますが近年川の中の草木が太くなり、「きれいにしたい」との要望が広がっています。上流の樹木に生える川の水は切ってくれまじか、一番上流の地域は残された状態だったので再び声があがり、近々、整えてくれることに。下流の整備は、まだ残されたままになっていて、市道との関係で、県、市土木事務所で協議中。 なかい案件です。

はや12月になりました。今年5月には「どろみ」を、8月には「大葉」のお茶をつくらうと、せせと乾燥させた葉っぱがビニール袋に入ったままになっていました。「これは、いかに、もう年がかわいてしょう」と思いついて、夜、おそくまでお茶をつりにかけました。かた「どろみ」の葉は食用はせめて「エイ！」と気おおいを入れて使っていると、手の皮がむけておいてしまいました。おーお、水仕事もいらい、おそくに。

＝現場の声をつき上げよう＝



高知県の食と農の
11月26日、高知県の食と農の未来を考えた（主催：県農民組合、食料と健康・地域を守る高知県連合会）に参加しました。
高知大学の若佐知孝教授が、日欧EPAやTPPなどは多国間企業や商社が儲けるために国内規制や制度を改定させるものと説明。
JAコスモス農協の伊藤きよ子組合長からは、安倍政権は、多国籍企業などがもうける上で農協を「お盆規制」と決めつけ、Aコフやガソリンスタンド、金融や井戸など親類以外への利用制限をする中で、地域がつぶれていくと警告しました。

“高知県の食と農の未来を考えると”
“安倍政権の農協改革”では地域がこわれる”
協力共同でストップを。

＝はたらく女性の交流集会 2017 開催＝



毎年11月23日は、はたらく女性たちが集まって、学び、励ましあう日。今年は、フルトヒップの演奏に心をいやされ、高知大学の森田先生の「高知の女性の働き方」分析に、うなづきながら、パワーをもらう集会となりました。

てくてく歩記